

(執筆 北野浩一、清水達也)

「アジアとラテンアメリカの企業経営」研究会

(主査 星野妙子)

議事録

日時 2005年1月15日(土) 14時 - 15時30分

場所 アジア経済研究所 C24 会議室

出席者(敬称略)

(内部委員) 星野妙子、清水達也、佐藤幸人、坂口安紀、北野浩一、安部誠、

(内部オブザーバー) 川上桃子、渡邊真理子

(外部オブザーバー) 竹内巨理、上原美鈴

配布資料 「ベネズエラの企業経営者：経営組織と経営者」

議題 原稿検討会

「ベネズエラの企業経営者：経営組織と経営者」(報告者 坂口委員、コメンテーター：清水、渡邊)

ベネズエラ企業の経営組織と経営者について、90社の企業調査をもとに分析した。それによると、執行を中心とする経営の担い手については、意志決定と監督に特化する取締役と、CEOを中心とする執行役員会が執行を担当する執行分離型企業が大半であった。また、経営執行の中心的担い手が創業者家族である企業が全体の7~8割であるが、俸給経営者が経営を担う企業も2割ほど存在する。

渡邊コメントに対する回答

・会長とCEOの権限に関して

情報優位性からCEOが強いという認識を持っているが、実態を知るのは難しい。

・血縁関係者の評価については、今後検討したい。

・惜しい点

回答率をあげるため、質問事項を少なく抑える必要があった。次回の調査のときは参考にしたい。

清水コメントに対する回答

・論文の論点を整理し、分割する

これからデータを分割するのは難しく、できるだけ一つの論文として発表したい。

・データに規模が小さい企業が含まれている問題

調査の過程で、委託先より興味深い企業として追加修正があったもの。

・「経営者企業」の定義に関して

P3の森川の家族企業の分類を使い、(4)の区分を「専門経営者企業」としている。しかし、森川の定義では、「執行」という概念は入っていないにもかかわらず、坂口はこれに基づく分類としている、としている指摘があった。

これに対し「専門経営者企業」を定義して用いるのではなく、分析範囲を明記することで対応できるのではないか、という提案が示された。

そのほか

・表の整理

現在、加工度の低い表が数多く掲出されているのを整理する必要性が提案された。例としては、クロス表にするなど工夫する、あるいは、分析的な表を本文中に残し、他は質問表をそのまま付表として提示する、などの代案が出された。

以上